

**ネットワーク運用と空間デザインを刷新する**  
**高速・低遅延で安定性の高いWi-Fi 7対応モデル**  
**ヤマハ 無線 LAN アクセスポイント 『WLX333』 『WLX232』**

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、高速化・低遅延化に加え、混雑環境下でも安定した通信を実現する最新の無線通信規格 Wi-Fi 7 (IEEE 802.11be) に対応した無線 LAN アクセスポイント（以下、無線 AP）『WLX333』『WLX232』を2026年7月に発売します。



無線 LAN アクセスポイント 『WLX333』 『WLX232』

近年、クラウドサービスやオンライン会議、動画コンテンツの利用拡大に伴う無線 LAN トラフィックの増大により、通信の安定性や低遅延へのニーズが急速に高まっています。

今回発売する『WLX333』『WLX232』は、Wi-Fi 7 (IEEE 802.11be) に対応した無線 AP のハイグレードモデルです。オフィスや教育機関、医療機関など多様な現場において、円滑に業務を遂行するための快適な無線 LAN 環境を提供します。

『WLX333』は10GbEポートを搭載したパフォーマンスモデルで、高密度環境や大容量通信が求められるシーンに最適です。『WLX232』は2.5GbEポート搭載のスタンダードモデルで、中規模オフィスや一般的な業務用途に適しています。また、ネットワーク運用をよりやさしくする新しい無線 LAN 運用支援ツール「Wellness OnStage（ウェルネス オンステージ）」を搭載しました。機器の状態ではなく業務への影響を起点とした新しいユーザーインターフェースにより、現場のIT担当者でも状況を理解しやすく、トラブル時の一次判断や初期対応を支援します。これにより、現場とSIer（システムインテグレーター）がそれぞれの役割を發揮できる、新しい無線 LAN 運用を実現します。さらに、無線 AP を「隠したい設備」ではなく、現代的な空間デザインの一部でもある「空間の価値を高める存在」として設計しました。無線性能を最大化するアンテナ配置と内部構造、外観デザインを一体で設計し、機能性と空間調和の両立を図っています。カラーバリエーションはブラックスケルトンモデルとホワイトモデルの2種類を用意し、設置環境に応じて選択可能です。

| 品名              | 品番         | 希望小売価格                  | 発売時期  |
|-----------------|------------|-------------------------|-------|
| 無線 LAN アクセスポイント | WLX333 B/W | 237,600 円（税抜 216,000 円） | 7 月   |
|                 | WLX232 B/W | 190,300 円（税抜 173,000 円） |       |
| 電源アダプター         | YPS-12V4A  | 12,100 円（税抜 11,000 円）   | 6 月下旬 |

※品番末尾の B はブラック（スケルトン）、W はホワイトを表します。

※「YPS-12V4A」は「YPS-12V3A」との互換性を持つ関連オプションです。

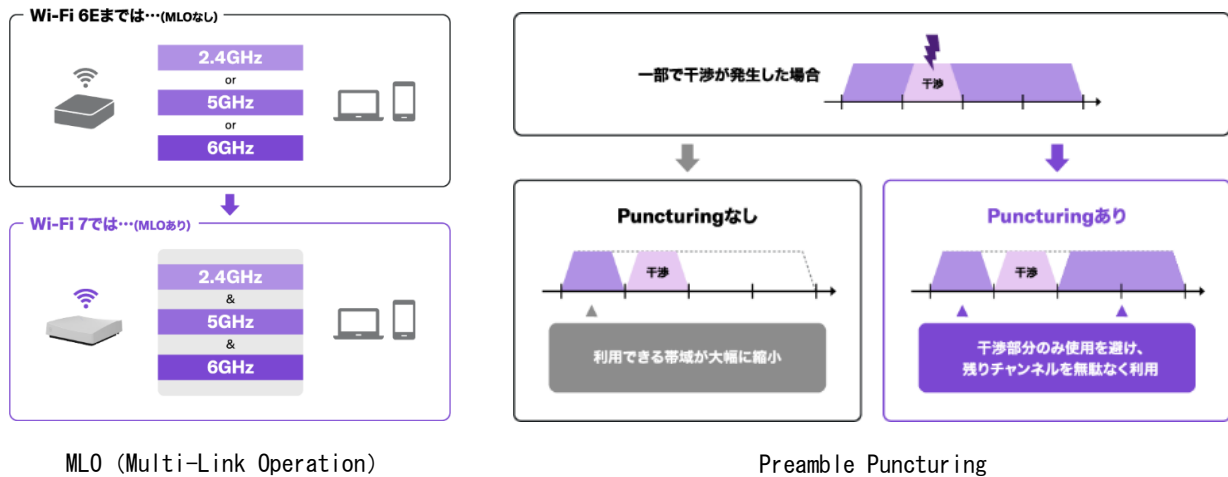
#### <概要>

1. Wi-Fi 7 がもたらす、次世代の無線 LAN 体験
2. ネットワーク運用をもっとやさしく — 新しい無線 LAN 運用支援ツール「Wellness OnStage」
3. 空間と調和する新しいデザインとカラーバリエーション
4. Wi-Fi 7 を現場で活かす、ALL ヤマハのトータルソリューション

## <主な特長>

### 1. Wi-Fi 7がもたらす、次世代の無線 LAN 体験

『WLX333』『WLX232』は、最新の無線通信規格 Wi-Fi 7 に対応し、2.4GHz 帯・5GHz 帯に加えて干渉の少ない 6GHz の周波数帯も利用できるため、混雑環境下でも安定した通信が可能です。また、複数の周波数帯を同時に利用する MLO (Multi-Link Operation) に対応し、通信状況に応じて最適な経路を柔軟に使い分けることで、通信の遅延や途切れを抑え、オンライン会議やクラウド利用時の快適性を向上させます。さらに、電波干渉のあるチャンネルを避けて効率的に通信を行う Preamble Puncturing に対応。これにより、一部に干渉がある環境でもチャンネル全体を無駄にすることなく活用でき、実効スループットが向上しました。加えて、一度に送信できるデータ量が多く、より高速なデータ通信を実現する効率的なデータ変調方式の 4K QAM (4096QAM) により、多数の端末が接続されるオフィスや教育機関、来訪者向け Wi-Fi を提供する店舗・施設などで、混雑時でも快適な通信環境を維持しやすく、業務利用の安定性が向上します。



2 モデルともバンド構成やストリーム数などの無線性能が異なるため、それぞれの用途に適したモデル選択が可能です。また、従来モデルと同様に、多数の端末が接続される環境において、無線 AP 間で接続端末を適切に分散することで、特定の無線 AP への負荷集中を抑制する端末分散の仕組みも搭載しています。これにより、高密度環境においても安定した通信品質を維持しやすく、現場のトラブル発生を未然に防ぎます。より高度な通信性能が求められる環境に対応する『WLX333』『WLX232』は、既存の Wi-Fi 6/6E 対応無線 AP とあわせて展開することで、導入環境や要件に応じた幅広い選択肢を提供可能です。

|             |        |          |          |
|-------------|--------|----------|----------|
| 無線区間スループット* | WLX333 | Wi-Fi 7  | 9.34Gbps |
|             | WLX323 | Wi-Fi 6E | 5.37Gbps |
|             | WLX322 | Wi-Fi 6  | 2.95Gbps |
|             | WLX232 | Wi-Fi 7  | 6.45Gbps |
|             | WLX222 | Wi-Fi 6  | 1.78Gbps |

\*Wi-Fi 7対応AP(WLX333/WLX232)のスループット値は、320MHz帯域幅を利用した場合の理論値です。

|           |        |            |                  |           |       |
|-----------|--------|------------|------------------|-----------|-------|
| 最大同時接続端末数 | WLX333 | 2.4GHz 70台 | 5GHz 100台        | 6GHz 100台 | 計270台 |
|           | WLX323 | 2.4GHz 70台 | 5GHz 100台        | 6GHz 100台 | 計270台 |
|           | WLX322 | 2.4GHz 70台 | 5GHz 100台        |           | 計170台 |
|           | WLX232 | 2.4GHz 70台 | 5GHzまたは6GHz 100台 |           | 計170台 |
|           | WLX222 | 2.4GHz 70台 | 5GHz 70台         |           | 計140台 |

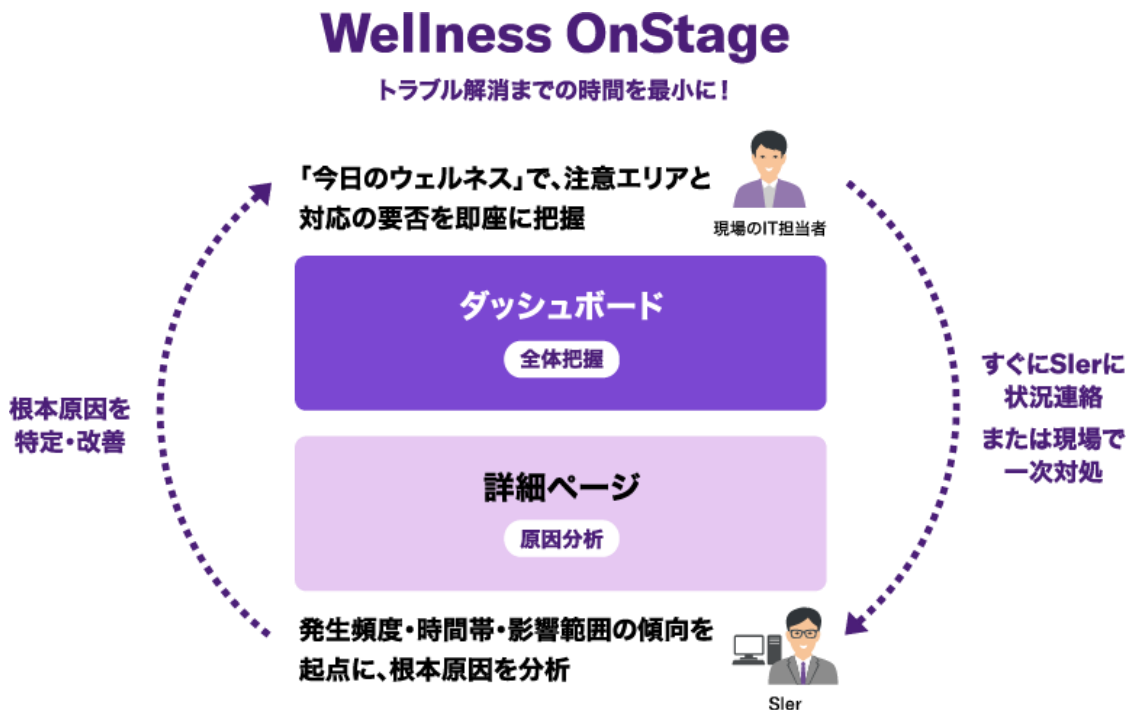
## 2. ネットワーク運用をもっとやさしく — 新しい無線 LAN 運用支援ツール「Wellness OnStage」

クラウド活用やオンライン会議、動画コンテンツの利用拡大により、無線 LAN は現場の業務を支える重要な基盤となっています。一方で、トラブル発生時には「何が起きているかが分からない」「どこから確認すべきか判断できない」といった課題が生じやすく、専門用語が並ぶ管理画面の前で対応に苦慮するケースも少なくありません。また、運用を担う Sier にとっても無線 LAN の障害解析は難易度が高く、原因特定や復旧までにかかる時間と工数が課題となっています。こうした課題に対し、ヤマハは、ネットワーク運用をもっとやさしくすることを目的に、従来の「無線 LAN 見える化ツール」を刷新し、“機器の状態”ではなく“業務への影響”を起点に状況を捉えることを重視した新しい無線 LAN 運用支援ツール「Wellness OnStage\*」を開発しました。

本ツールでは、“機器の状態”ではなく“業務への影響”を起点に状況を捉えることを重視しています。その中核となるのが、「業務を快適に行えているか」を独自に可視化した指標「Wi-Fi 快適度」です。これにより、管理者は「どこに問題があるか」ではなく「どこから対応すべきか」を直感的に把握でき、優先順位を迷うことなく判断できます。Wi-Fi 快適度で特定した影響箇所を起点に、端末や無線 AP の状態へ段階的に状況をたどることで原因の切り分けから対処の方向性までをスムーズに把握できるため、現場担当者は専門知識に頼ることなく適切な一次判断や初期対応を行えるようになります。一方で、Sier はネットワークの利用傾向や再発要因、実際の利用状況を踏まえた分析に注力できるため、より本質的な原因特定や再発防止策の検討が可能になります。現場と Sier がそれぞれの役割を活かしながら、無線 LAN 運用の高度化を実現します。また、本ツールはオンプレミス型の管理機能として実装されるため、クラウドサービスを利用しない環境でも、拠点全体の Wi-Fi 状況を把握できます。既存環境にも導入しやすく、シンプルな運用を実現します。さらに、多拠点環境ではクラウド型のネットワーク統合管理サービス「Yamaha Network Organizer（以下、YNO）」と連携することで、拠点をまたいだ統合管理にも対応します。

本ツールは、2026 年秋以降のファームウェアアップデートで対応予定です。また、対応後も運用体験の継続的な改善や機能追加を進めてまいります。

\*「Wellness」には、ネットワークの運用を通じて、“業務”の安定を継続的に支えたいというメーカーとしての想いを表しています。「OnStage」には、現場が舞台に立ち、自ら状況を理解し、判断し、行動できる運用体験へとの意思を込めています。



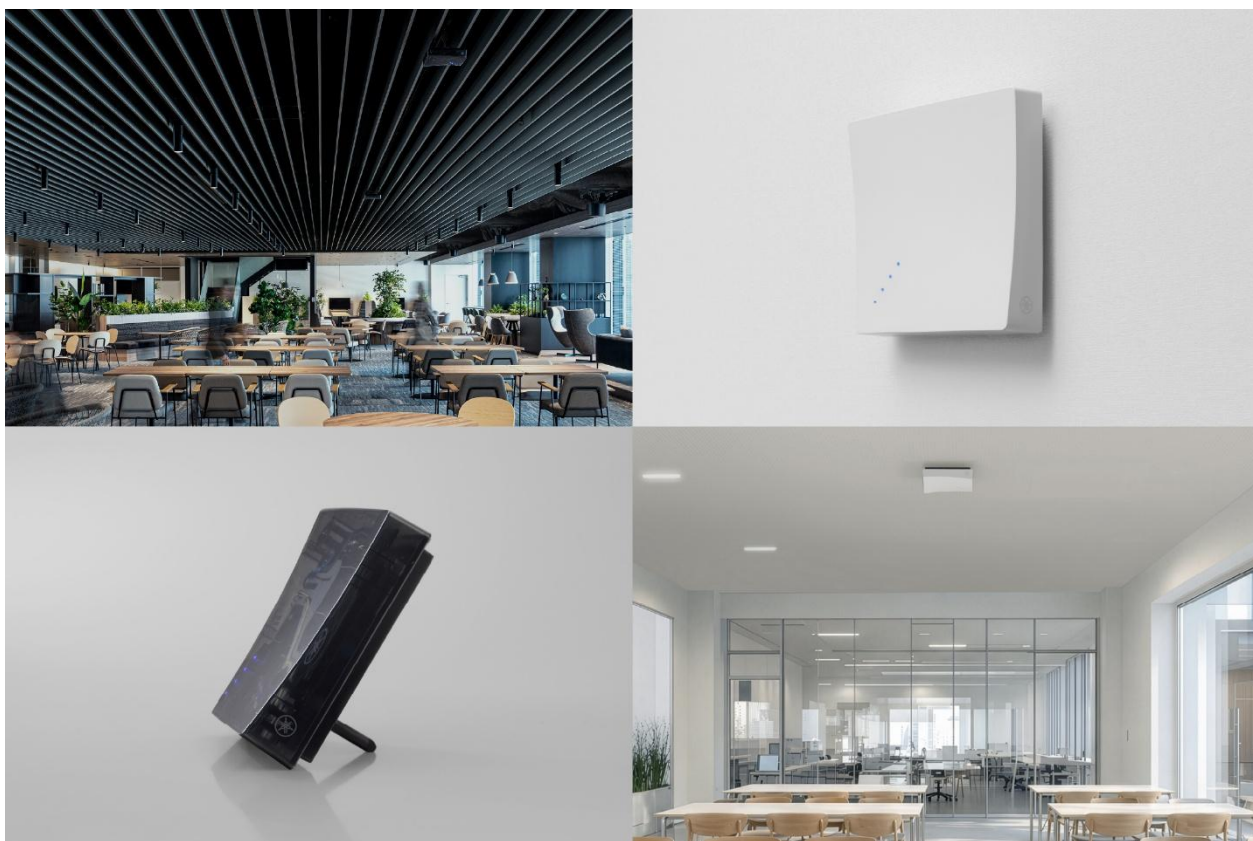
### 3. 空間と調和する新しいデザインとカラーバリエーション

近年、オフィスのフリーアドレス化や店舗における購買前体験の再評価などの働き方や空間活用の変化に伴い、空間そのものが持つ価値への関心が高まっています。特に開放感を重視したスケルトン天井のオフィスでは、ネットワーク機器を天井裏へ隠すことが難しく無線 LAN アクセスポイントも「見られる設備」となるため、空間と調和しながらその価値を高めるデザインが求められています。

『WLY333』『WLY232』では、設置空間に合わせて色を選べるブラックスケルトンモデルとホワイトモデルの2種類を用意しました。ブラックスケルトンモデルは、照明や配管が露出したスケルトン天井などの暗色空間へ自然になじむよう、内部構造がうっすら透ける半透明のブラック筐体を採用しています。空間の印象を損なうことなく設置できるため、設置場所の自由度や提案の幅を広げます。ホワイトモデルも、過度に白くならない色味へ調整することで、オフィスや医療機関、教育施設などの明るい空間へ自然になじむ仕上がりとなりました。

また、無線性能を最大化するアンテナ配置と内部構造、外観デザインを一体で設計しています。天面には緩やかなウェーブ形状を採用し、空間へ柔らかに調和しながら、内部構造を反映した機能美のある外観を実現しました。アンテナ部に必要な厚みを確保しながら、十分な強度のある曲面を用いて薄く仕上げることで、性能要件と軽やかなフォルムを両立しています。

さらに、従来モデル「WLY323」「WLY322」とほぼ同等の重量を維持しながら、天井や壁の種類を問わない高い設置性を実現しました。縦置き設置に加え、新たにスイッチボックス設置にも対応したほか、落下防止ワイヤーを本体へ直接接続可能とすることで、安全性にも配慮しています。

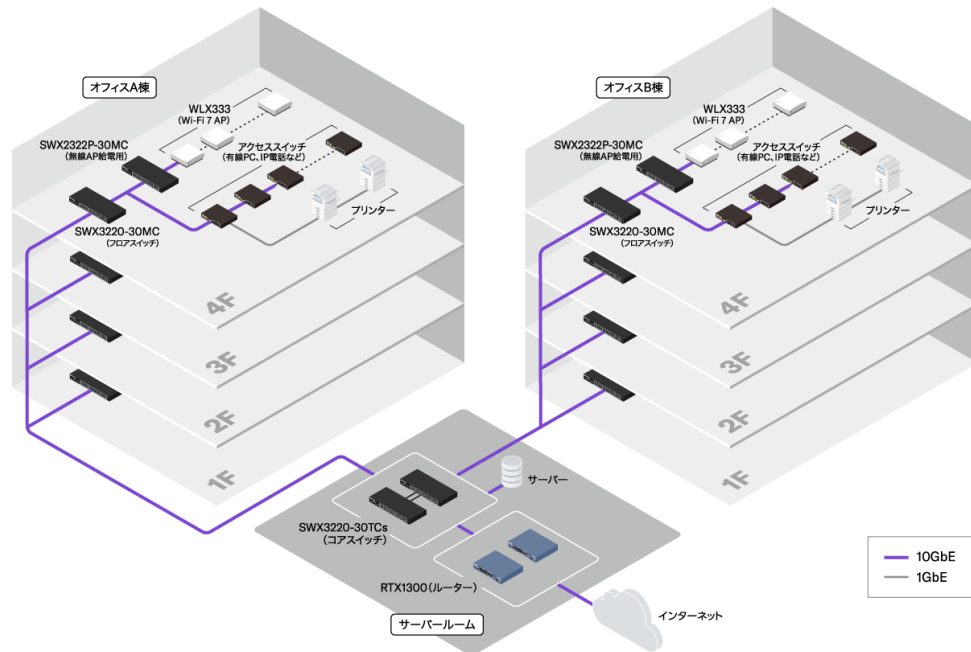


### 4. Wi-Fi 7 を現場で活かす、ALL ヤマハのトータルソリューション

Wi-Fi 7 の高速・低遅延性能を現場で確実に活かすには、無線側の性能だけでなく、有線側の帯域・給電・運用を含めてボトルネックを生じさせないネットワーク設計が重要です。当社では、無線 AP からスイッチ/ルーター/運用支援（オンプレミス・クラウド）まで含めたトータルなネットワークソリューションとして、快適で安定した無線 LAN 環境の構築と運用を支援します。

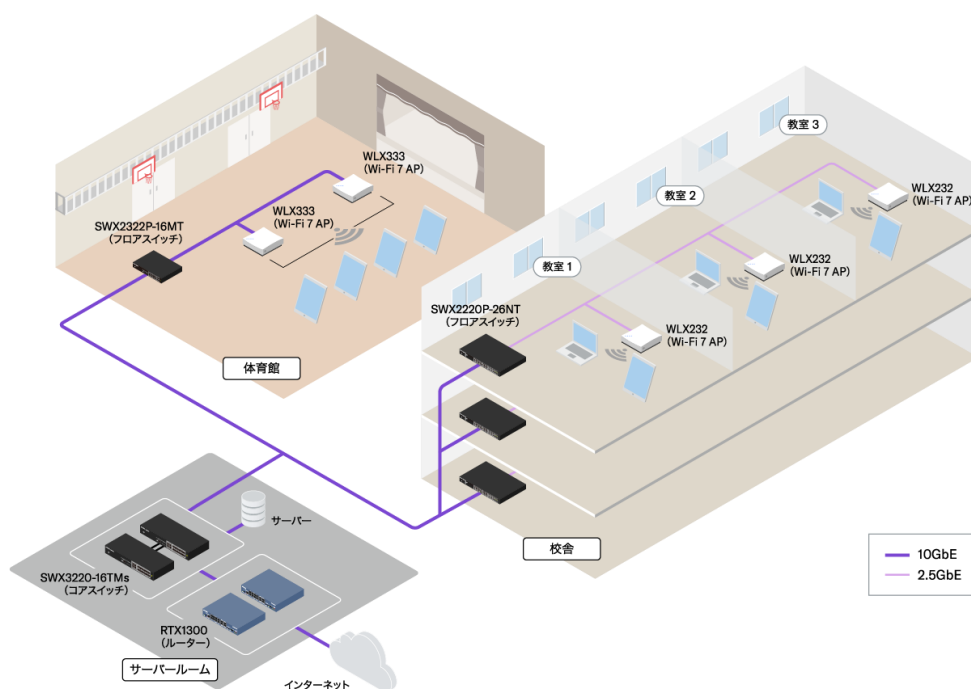
### WLX333 : Wi-Fi 7 の性能をフルに引き出す オール 10G 構成

『WLX333』は PoE+受電に対応した 10GbE ポートを搭載し、当社の PoE+対応・10GbE 多ポート搭載インテリジェント L2 スイッチ「SWX2322P-30MC」「SWX2322P-16MT」と組み合わせることで、トライバンドに対応した Wi-Fi 7 の性能を効率よく上位ネットワークへ転送可能です。これにより、超高速なオール 10G ネットワーク構成を実現します。特に「SWX2322P-30MC」は、装置全体で最大 720W まで給電できるため、給電容量を気にすることなく『WLX333』を最大 24 台収容でき、高密度環境でも余裕のあるネットワーク設計が可能です。



### WLX232 : 既存配線を活かしてスムーズに移行できる マルチギガ構成

『WLX232』は PoE+受電に対応した 2.5GbE ポートを搭載し、PoE+対応・2.5GbE 多ポートとアップリンク 10GbE を備えた当社スマート L2 スイッチ「SWX2220P-26NT」「SWX2220P-18NT」「SWX2221P-10NT」との組み合わせにより、トータルコストを抑えながら Wi-Fi 7 による高速化を実現します。2.5GbE 接続は、既存環境で多く利用されているカテゴリ 5e の LAN ケーブルを利用できるため、既設の配線を生かして無線 LAN を最新化しやすく、導入時の負担を抑えることが可能です。



## 構成・状態・判断をつなぐ運用体験 (LAN マップ × Wellness OnStage × YNO)

当社のネットワーク機器は、オンプレミス環境で確実に把握できる運用を軸に、クラウド連携によって多拠点へと拡張することで、構成から状態、判断まで一貫した運用体験を提供します。

オンプレミス環境では、当社ルーターおよびインテリジェント L2 スイッチが搭載する Web アプリケーション「LAN マップ」により、機器を LAN ケーブルで接続するだけで、配下のスイッチや無線 LAN アクセスポイントを含むネットワーク構成を自動的に認識して可視化します。これにより、ネットワークの“いまの構成”を常に正しく把握できます。この構成情報を土台に、「Wellness OnStage」は通信状態や影響範囲を業務視点で可視化し、トラブル発生時の一次判断や初期対応を支援します。構成と状態を切り離さずに把握できることで、初動対応の精度とスピードが向上します。

さらに、「YNO」と連携することで、これらの運用体験を多拠点環境へと展開できます。拠点ごとの差異を意識せず、ネットワークの構成把握から状態確認、運用判断までを統合的に行うことが可能になります。ヤマハは、無線 AP/スイッチ/ルーター/運用支援を組み合わせた ALL ヤマハのトータルネットワークソリューションにより、現場の運用負担を軽減しながら、安心して使い続けられるネットワーク環境の構築を支援していきます。



### <主な仕様>

| 品番       |                | WLX333  | WLX232   |
|----------|----------------|---|--|
| 希望小売価格   |                | 237,600 円 (税抜 216,000 円)  | 190,300 円 (税抜 173,000 円)                               |
| JAN コード  |                | ホワイト : 49 57812 72526 2<br>ブラック : 49 57812 72528 6                        | ホワイト : 49 57812 72525 5<br>ブラック : 49 57812 72527 9     |
| インターフェース | LAN ポート        | 1 ポート (100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T、ストレート/クロス自動判別) | 1 ポート (100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T、ストレート/クロス自動判別) |
|          | コンソールポート (設定用) | 1 ポート (RJ-45) ※3  |  |
|          | 拡張用ポート         | 1 ポート   |  |
| メモリー     | Flash ROM      | 8GB eMMC+16MB (ファームウェア : 1 組、コンフィグ : 1 組)                                 |  |
|          | RAM            | 2GB   |  |

|             |  |   |   |
|-------------|--|---|---|
| 無線          | アンテナ                                     | 2.4GHz/5GHz 共用アンテナ 2 本、<br>6GHz アンテナ 2 本、DFS スキャン用<br>アンテナ 1 本、合計 5 本を本体に内蔵   | 2.4GHz/5GHz 共用アンテナ 2 本、<br>6GHz アンテナ 2 本、合計 4 本を<br>本体に内蔵             |
|             | MIMO 方式                                  | 6GHz : MIMO (2x2、2 ストリーム)、<br>5GHz : MIMO (2x2、2 ストリーム)、<br>2.4GHz : MIMO (2x2、2 ストリーム)   | 5GHz または 6GHz : MIMO<br>(2x2、2 ストリーム)、<br>2.4GHz : MIMO (2x2、2 ストリーム) |
|             | 2.4GHz 帯 無線 LAN 規格                       | IEEE 802.11b/g/n/ax/be (最大伝送速度 688Mbps、アップリンクは 574Mbps)   |   |
|             | 5GHz 帯 無線 LAN 規格                         | IEEE 802.11a/n/ac/ax/be (最大伝送速度 2,882Mbps)  |   |
|             | 6GHz 帯 無線 LAN 規格                         | IEEE 802.11ax/be (最大伝送速度 5,765Mbps)   |   |
|             | 同時利用周波数帯                                 | 2.4GHz/5GHz/6GHz  | 2.4GHz/5GHz または 2.4GHz/6GHz<br>(5GHz 帯/6GHz 帯は切り替えて利用)                |
|             | 5GHz 対応周波数帯                              | W52/W53/W56 (144ch 対応)  |   |
|             | アクセス方式                                   | インフラストラクチャーモード、WDS リ<br>ピーターモード (2.4GHz および 5GHz<br>でのみ利用可能)、WDS ブリッジモード  | インフラストラクチャーモード、WDS<br>リピーターモード (2.4GHz および<br>5GHz でのみ利用可能)           |
|             | 接続端末数                                    | 6GHz 帯 : 最大 100 台、5GHz 帯 : 最大<br>100 台、2.4GHz 帯 : 最大 70 台、合計 270 台  | 6GHz 帯または 5GHz 帯 : 最大 100 台、<br>2.4GHz 帯 : 最大 70 台、合計 170 台           |
| セキュリ<br>ティー | 認証方式                                     | オープン、Enhanced Open、WPA/WPA2/WPA3 パーソナル、WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ   |   |
|             | 暗号化方式                                    | CCMP (AES)、TKIP、WEP (64bit/128bit、無線モードが IEEE 802.11be の場合<br>は使用不可)、192-bit セキュリティーモード   |   |
|             | マルチ SSID                                 | 6GHz 帯 : 最大 8 個、5GHz 帯 : 最大 8 個、<br>2.4GHz 帯 : 最大 8 個、合計 16 個   | 5GHz 帯 : 最大 8 個、<br>2.4GHz 帯 : 最大 8 個、合計 16 個                         |
|             | セキュリティー機能                                | AP 間プライバシーセパレーター、Any 接続拒否、MAC アドレスフィルタリング<br>(1VAP あたり最大 256 件)、パスワード設定、接続台数制限、送信出力調整機能、<br>ステルス SSID、MAC 認証機能、アクセス制御機能、WPS (WLX232 のみ) |   |
| LAN         | タグ VLAN (IEEE 802.1Q)                    | ○   |   |
|             | LAN 機能                                   | -   |   |
| 管理/<br>設定   | 管理プロトコル                                  | SNMP (v1/v2c/v3)  |   |
|             | ファームウェアの更新                               | TFTP からのリビジョンアップ、Web GUI からの HTTP またはローカルファイル<br>指定によるリビジョンアップ/リビジョンダウン、YNO からのリビジョンアップ   |   |
|             | 内蔵 RADIUS サーバー                           | 最大 1,000 件、EAP-PEAP (MSCHAPv2)、EAP-TLS、MAC アドレス/接続 SSID 制限対応  |   |
|             | 外部 RADIUS サーバー対応<br>(IEEE 802.1X EAP 認証) | EAP-TLS、EAP-TTLS/MSCHAPv2、PEAPv0/EAP-MSCHAPv2、PEAPv1/EAP-GTC、<br>EAP-SIM、EAP-AKA、EAP-AKA Prime、EAP-FAST                                 |   |
|             | クライアント証明書の発行                             | ○ (オンプレミス動作時のみ)   |   |
|             | ロギング機能                                   | メモリーに蓄積 (50,000 件)、SYSLOG での出力  |   |
|             | 設定手段                                     | コンソール、TELNET、Web 設定画面、Web 設定画面 (HTTP) /TFTP によるダウン<br>ロード/アップロード、ヤマハルーターの Web GUI/コマンドによるバックアップ、YNO                                     |   |
|             | GUI の推奨ブラウザ <sup>※1</sup>                | Windows : Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox<br>macOS : Safari、iPadOS : Safari  |   |
|             | 機能                                       | QoS (WMM[Wi-Fi Multimedia])、DHCP クライアント、DHCP サーバー、<br>メール通知機能、NTP クライアント  |   |
|             | L2MS エージェント <sup>※2</sup>                | L2MS マネージャー <sup>※4</sup> の Web GUI/コマンドによる設定/状態表示/管理、<br>ネットワーク構成表示、コンフィグの保存/復元、ゼロコンフィグ機能  |   |

|             |                             |  |  |
|-------------|-----------------------------|--|--|
|             | 拡張機能                        | Radio Optimization 機能、Wellness OnStage <sup>※5</sup> 、クラウド型管理サービス (YNO) 対応、クラスター管理機能 (管理可能台数は最大 128 台、スタンドアロンモード 対応) <sup>※6</sup> 、範囲指定型自動チャンネル選択機能、自動チャンネル変更機能、電波出力自動調整機能、LAN-無線連動機能、無線通信平滑機能 (エアタイム イコライザー)、バンドステアリング機能、災害時モード切替機能、キャプティブポータル機能、かんたん接続 QR コード生成機能、VAP グルーピング機能、Fast DFSv2 機能 (WLX333 のみ)、適応型ローミングアシスト機能、ローミングアシスト機能 (IEEE 802.11k/v)、高速ローミング機能 (IEEE 802.11r)、接続分散機能 (IEEE 802.11k/v) |  |
| ハードウェア      | 状態表示ランプ                     | 天面：4 (POWER、LAN、YNO、WLAN) ※消灯機能付き  |  |
|             | 動作環境条件                      | 周囲温度 0~50°C、周囲湿度 15~80% (結露しないこと)  |  |
|             | 最大消費電力                      | 23W  | 15W  |
|             | 最大消費電流                      | 電源アダプター (DC12V) : 1.7A <sup>※7</sup> 、PoE (IEEE 802.3at 準拠 DC54V) : 0.42A  | 電源アダプター (DC12V) : 1.1A <sup>※7</sup> 、PoE (IEEE 802.3at 準拠 DC54V) : 0.27A                |
|             | 発熱量                         | 電源アダプター (DC12V) : 75.6kJ/h、PoE (IEEE 802.3at 準拠 DC54V) : 82.8kJ/h  | 電源アダプター (DC12V) : 46.8kJ/h、PoE (IEEE 802.3at 準拠 DC54V) : 54kJ/h                          |
|             | 筐体                          | 上面：プラスチック、底面：アルミダイキャスト、ファンレス   |  |
|             | 電波障害規格、環境負荷物質管理             | VCCI クラス A、RoHS 対応   |  |
|             | 外形寸法                        | 210 (W) x 56.6 (H) x 210 (D) mm (突起部含まず) ※壁掛け、天井設置、卓上スタンド設置、VESA 規格スタンド 取付、スイッチボックス取付が可能   | 190 (W) x 55.6 (H) x 190 (D) mm (突起部含まず) ※壁掛け、天井設置、卓上スタンド設置、VESA 規格スタンド 取付、スイッチボックス取付が可能 |
|             | 質量                          | 本体 1.2kg (付属品含まず)、マウントパネル 105g、スタンド 13g、ケーブルチューブ 3g  | 本体 0.9kg (付属品含まず)、マウントパネル 105g、スタンド 13g、ケーブルチューブ 3g                                      |
|             | 付属品                         | はじめにお読みください (保証書含)、同梱品チラシ、マウントパネル、スタンド、ケーブルチューブ、CONSOLE ポート用ダストカバー、拡張用ポート用ダストカバー   |  |
|             | オプション                       | 電源アダプター (YPS-12V4A)、PoE インジェクター (YPS-PoE-BT)、RJ-45 コンソールケーブル (YRC-RJ45C)   | 電源アダプター (YPS-12V4A)、PoE インジェクター (YPS-PoE-AT)、RJ-45 コンソールケーブル (YRC-RJ45C)                 |
|             | デフォルト IP アドレス               | DHCP 自動取得 (取得失敗時は 192.168.100.240/24)  |  |
| 仕様対象ファームウェア | Rev. 27.01.01 <sup>※8</sup> | Rev. 27.00.01 <sup>※8</sup>  |  |

※1: ブラウザーのバージョンは、最新バージョンにしてご利用いただくことを推奨します。また、最新の Web ブラウザー対応状況は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※2: L2MS (Layer2 Management Service) は、ヤマハネットワーク機器をレイヤー2 レベルで管理する機能です。

※3: 別売りの RJ-45 コンソールケーブル「YRC-RJ45C」をご使用ください。

※4: L2MS マネージャーに対応しているルーター/ファイアウォール/スイッチが別途必要です。L2MS マネージャー対応機種は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※5: 2026 年秋以降に公開予定のファームウェアで対応します。

※6: クラスター管理機能は、同じ L2 ネットワークに接続されている複数台の無線 LAN アクセスポイントを一元管理するためのシステムです。詳細は、技術情報 (RTpro) サイトにて公開しております。

※7: 必ず別売りの電源アダプター「YPS-12V4A」をご使用ください。

※8: 最新プログラムは、技術情報 (RTpro) サイト上に公開しております。

\* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\* 掲載情報はすべて発表日現在のもので、発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

#### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL. 050-3148-8660  
ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/) (問い合わせや画像ダウンロードが可能です)

#### ■ 一般の方のお問い合わせ先

ヤマハネットワーク製品お客様相談センター TEL. 050-3537-7701  
ウェブサイト <https://network.yamaha.com/>